

沖縄県医師会医学会賞 (研修医部門) の設立について

沖縄県医師会医学会副会長・研修医医学賞選考委員会委員 田名 毅
(首里城下町クリニック第一)



(設立の経緯)

沖縄県は琉球大学医学部医学科が開設される以前から、研修医を養成し地域医療を担う人材を育てる役割を沖縄県立中部病院が担ってきた。ハワイ大学との提携によるアメリカ式医学教育は救急医療、総合内科をはじめとする診療能力が養われるシステムとして全国から高い評価を受けてきた。その後琉球大学医学部における医師養成が開始されてからは、多くの人材の交流の基に沖縄県立中部病院が従来行ってきた研修と琉球大学における医学教育の新しい融合も進んだ。このような背景から各研修指定病院には熱心な指導医が多く、新研修システムが導入されて以降も沖縄には全国から多くの研修医が初期研修、後期研修を受けに訪れてきている。しかし、図1にみるように平成18年の149名をピークに徐々にではあるが研修医数に減少傾向がみられる。全国の地方都市、大学において研修医をそれぞれの地域に残そうとする取り組みが増えていることが一因として考えられる。研修指定病院の指導医は現場において、この傾向を敏感に感じ危機感をもっている。

今回、浦添総合病院の金城俊一先生をはじめとする呼吸器同好会に所属する指導医の先生方から、沖縄県における研修医教育システムをよ

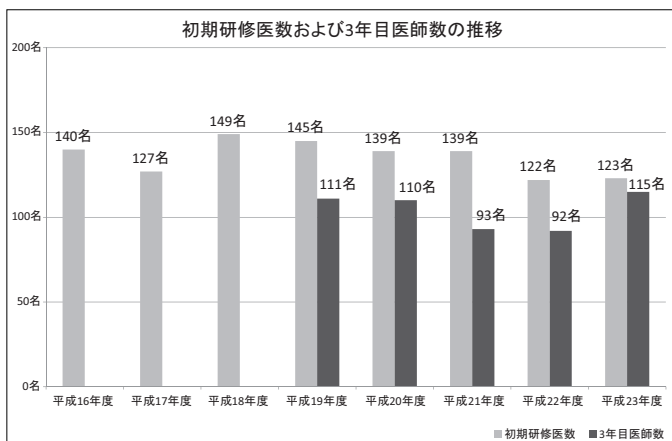


図1

り魅力あるものにすることを目的に表題の賞の設立の提案があった。本件は6月7日開催の県医師会理事会、6月12日開催の県医学会分科会長会議にて了承され、今回設立に至った。

(選考委員会の構成)

2回の準備委員会を経て以下のメンバーを決定した(表1)。発案の原動力になった呼吸器同好会所属の指導医の先生方、分科会推薦の先生方、そして医学会役員による構成とさせて頂いた。選考委員長には長年、県立中部病院、群星研修群において研修医教育に携わってこられた宮城征四郎先生に就任頂いた。今年度末の分科会長会議で審議頂くが、現時点では2年の任期を考えている。尚、その後の選考委員の決定方法については、臨床研修病院長等会議、医学会幹事会、分科会長会議などにおいて意見をお聞きする予定である。

表1 研修医医学賞選考委員

No.	氏名	医療機関名
1	宮城征四郎	群星沖縄臨床研修センター
2	金城 俊一	浦添総合病院
3	喜舎場朝雄	県立中部病院
4	原永 修作	琉球大学医学部附属病院第一内科
5	篠原 直哉	県立南部医療センター・こども医療センター
6	知花なおみ	那覇市立病院
7	友利 博朗	八重洲クリニック ※内科医会から推薦
8	川畑 勉	国立病院機構沖縄病院 ※外科会から推薦
9	宮城 雅也	県立南部医療センター・こども医療センター ※小児科医会から推薦
10	當間 敬	那覇市立病院 ※産婦人科医会から推薦
11	名嘉村 博	沖縄県医師会医学会長
12	田名 毅	沖縄県医師会医学会副会長
13	村山 貞之	沖縄県医師会医学会副会長・沖縄県医師会理事 琉球大学医学部附属病院病院長

(選考規約)

第一回の選考委員会による話し合いの結果、以下を提案する。

総則

1. 沖縄県医師会医学会に学会賞をもうけ、これを沖縄県医師会医学会賞（研修医部門）と名付ける。
2. 本賞は、沖縄県医師会医学会総会において、優れた研究業績を発表した初期研修2年目で且つ、日常の研修活動において顕著な成績を納めた者に対して、選考の上、研修医歓迎レセプション等において授与する。
3. 記念品は「楯」とし、賞金を最優秀賞10万円、優秀賞（2名）5万円とする。
4. 授与された演題は、沖縄県医師会ホームページ、沖縄県医師会報、沖縄医学会雑誌記録集に掲載する。
5. ただし、他学会に既に発表した内容、もしくはその予定のある場合は当賞へのエントリーは認めない。

選考

6. 受賞対象者は、発表演題登録時に初期研修2年目であること。
7. 受賞候補者については、沖縄県医師会医学会総会一般演題発表者で、所属病院長より推薦いただく。推薦は1病院最大2名までとする。
8. 選考は、沖縄県医師会医学会賞選考委員会で行い決定する。
9. 選考委員は、自院の演題は採点しない。
10. 選考に関する事務は沖縄県医師会事務局において行う。

本規約の改正

11. 本規約に不都合が生じた場合には沖縄県医師会医学会幹事会、分科会長会議において審議、検討し、その改正には理事会の承認を得るものとする。

附則

本規約は2011年（平成23年）8月1日より施行する。

(選考方法)

選考委員は事前に抄録を十分熟読した上で、医学会総会当日に全演題の発表を聞いた上で採

点する。

(1) 採点に関する内規：

- ①選考委員は医学会賞（研修医部門）のセッションにエントリーされた演題に基づき採点する。但し、自院の演題の採点を行わない。
- ②各選考委員の点数の平均値に基づき決定する。
- ③点数が同点もしくは近似値になった場合は、選考委員長に一任する。

(2) 採点における評価方法（表2）

表2 採点表

No.	採点項目	採点内容	点数
1	抄録・発表内容	症例の公共性、メッセージ性	9 6 3
2	論理の展開方法	症例発表の発想から結論の導き方まで	9 6 3
3	質問への答え方	よく調べているか、また答え方など	6 4 2
4	プレゼンテーションの実際	時間の正確さ、発表の姿勢（しっかり練習してきているかなど）	6 4 2
5	発表態度	声の大きさ、聞きやすさ	3 2 1
6	発表方法	ポスターの文字の大きさ、見やすさ、わかりやすさ	3 2 1
合計点数			

(研修指定病院への協力依頼)

今回の医学会賞（研修医部門）の認知度を高め、より意義深いものとし、設立の目的を果たすためには、各研修指定病院の協力が不可欠である。8月1日に開催された臨床研修病院長等会議でも本件について周知させて頂いたが、是非各病院内で指導医、研修医に周知をお願いしたい。各病院で選考を行うこと自体が、指導医の研修医教育に対するモチベーションの向上に繋がることが期待できるという意見が、選考委員会でも出ていた。多くの医学会参加者が本賞のセッションに参加できるようなプログラム構成を現在検討しているので、開催日が12月11日と日曜日ではあるが一人でも多くの先生方の参加をお願いしたい。

※12月11日開催される第113回沖縄県医師会医学会総会におきましては、特別講演として東北大学病院長里見進先生の東日本大震災関連のご講演を予定しております。会員の皆様、当日は午前中から一人でも多くの参加をお待ちしております。